

**本講演会は新型コロナウイルス拡大を鑑み  
延期とさせて頂くこととなりました。**

## **DiaMond Seminar in TSUKUBA**

日時:2020年3月6日(金) 19:00~20:45

会場:オークラフロンティアホテルつくば 本館3Fジュピターウエスト

茨城県つくば市吾妻1丁目1364-1 TEL:0298-52-1112

### **講演1(19:00~19:45)**

座長:土浦協同病院 代謝・内分泌内科

部長 神山 隆治 先生

## **「 メトホルミンのエビデンスupdate 」**

筑波大学附属病院内分泌代謝・糖尿病内科

病院教授 鈴木 浩明 先生

### **講演2(19:45~20:45)**

座長:東京医科大学茨城医療センター 代謝内分泌内科

教授 桂 善也 先生

## **「 メトホルミンの糖尿病治療における位置づけと DPP-4阻害薬との併用について 」**

聖マリアンナ医科大学病院 代謝・内分泌内科 教授 田中 逸 先生

講演会終了後、情報交換会を予定しております。



※日本医師会生涯教育講座(1.5単位)【カリキュラムコード】「73 慢性疾患・複合疾患の管理」「76.糖尿病」「82.生活習慣」

※茨城県病院薬剤師会生涯研修単位(0.75単位) ※日本薬剤師研修センター(1.0単位) PS:2-2-53、 2-2-54、 2-2-55

共催:一般社団法人つくば市医師会 一般社団法人茨城病院薬剤師会 公益社団法人茨城県薬剤師会 つくば薬剤師会

大日本住友製薬株式会社

## 講演2

# 「メトホルミンの糖尿病治療における位置づけと

## DPP-4阻害薬との併用について」

聖マリアンナ医科大学病院 代謝・内分泌内科 教授 田中 逸 先生

### 【ご略歴】

- 1986年 滋賀医科大学卒業、第三内科入局  
1995年 東京都済生会中央病院内科医員  
1996年 順天堂大学医学部代謝・内分泌学講座助手  
1997年 同 講師  
2003年 同 助教授  
2007年 聖マリアンナ医科大学代謝・内分泌内科教授  
同 糖尿病センター長  
2014～2016年 付属病院副院長を兼務  
2017年 同 内科講座代表、現在にいたる
- 日本内科学会評議員、認定医、指導医  
日本糖尿病学会理事、専門医、研修指導医  
日本内分泌学会評議員、専門医、研修指導医
- 主な著書  
新セミナー生活習慣病第2版（単著） 医事新報社  
セミナー糖尿病アドバイス（単著） 医事新報社

### 【抄録】

メトホルミンは肝臓への直接作用に加えて腸管作用を有する。とくにGLP-1の分泌促進作用が注目されている。L細胞から分泌されたGLP-1はDPP-4により素早く分解され、活性型GLP-1の血中半減期は僅か1～2分に過ぎない。しかしGLP-1は腸管壁内や門脈壁内のGLP-1受容体ニューロンに素早く結合し、迷走神経求心路から中枢神経系に、さらに中枢神経から迷走神経遠心路を介して内臓諸臓器に様々なシグナルが伝わる。これは腸・脳・内臓の神経連関と呼ばれている。従って、メトホルミンはGLP-1の分泌促進を介して神経連関を亢進させて血糖を改善する機序も想定されている。一方、DPP-4阻害薬はDPP-4を阻害して活性型GLP-1の半減期を延長する薬剤であり、GLP-1の血行性ホルモン作用を増強する。以上からメトホルミンとDPP-4阻害薬の併用は、GLP-1の神経連関作用と血行性のホルモン作用の両方を増強することが期待できる。当日はかかる視点からメトホルミンの位置づけとDPP-4阻害薬との併用効果について解説したい。